

「菅内閣は安倍家の生ゴミのバケツのフタ」

憲法学習会 立憲野党で政権交代

「アベ・スガ改憲を許さず憲法が生きる社会の実現」を掲げ5月22日、憲法大学習会がオンラインで開催されました。大阪憲法会議・共同ゼンター主催。

上智大学の中野晃一教授(安民法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合、立憲デモクラシーの会)が、「菅政権の特質と野党共闘」と題して講演しました。

菅内閣とは何なのか。田中真紀子氏は、「安倍家の生ゴミのバケツのフタ」と称した(注)『論座』20年9月9日「安

菅内閣とは何なのか。田中真紀子氏は、「安倍家の生ゴミのバケツのフタ」と称した(注)『論座』20年9月9日「安

倍政権では例えは森友問題で公文書の改ざんがあったり、財務省の職員が自殺したり、でもその責任をあいまいにする。そこはぐらかしがた。くさんあって、国民の不満も募っていた。なのにそうした悪臭紛々とした生ゴミを安倍家の台所から出して、バケツに押し込める。そのふたをするのが菅政権の役割ではないかという(こと)です。

自民党の絶対得票率と議席率 17%の得票率で議席の60%

衆院選挙	投票率	絶対得票率(比例)	議席率(計)
2009	69.3	18.1	24.8
2012	59.3	16.0	61.3
2014	52.7	17.0	61.1
2017	53.7	17.5	60.4

- 2009年、自民・公明政権退場
- 2012年、自民・公明政権復活
- 第2次安倍内閣2012.12~2020.9

させることによる「2012年体制」が確立する。

自民党の勝利の方程式

「2012年体制」とは何か。自民党の「絶対得票率」(棄権者を含めた有権者全員のうちの得票率)は、12年、14年、17年の「圧勝」も、実際には09年の「惨敗」よりも得票率が低い! (表参照) 投票率が高いと「惨敗」し、投票率が低いと「圧勝」する。自民党の「勝利の連立方程式」は、立憲野党の分断+低投票率。選挙制度の面から考えると、勝負の「形」をつくるには、野党共闘が不可欠。しかし、勝負の「形」ができて、勝利が約束されるわけではないのも、また事実。

トランプ時代の「ポスト真実」の政治手法。一つの不幸事や悪法なら命取りになるが、複数の不祥事や悪法が相次ぎ政権が延命する。「ニューノーマル」(新しい平常)としての「新しい無知」=「思考停止」状態が広がっている。安倍から菅への政権継承は、1980年代から繰り返されてきた保守の危機を「改革保守」が救うパターン(中曽根、細川・小沢、橋本、小泉、小池、維新)。維新的自称「改革派」の右派勢力が保守の危機を救うというパターンが、都市部を中心に全国的に繰り返されてきた。

衆議院選挙では、まだ一度も野党共闘が実現していない。「新しい無知」状態にある有権者に投票所に行き、立憲野党に投票してもらう必要がある。そのため、「自信の回復」+「怒りの共有」を「希望の行

動」とつなげることが必要。医療の削減や外国人の人権を守るうとする政権の姿を明らかにし、こうした日本を変えないと自分たちの暮らしが守れないと、自称「改革派」勢力との違いを明確にすることが必要。

行動提起として、「立憲野党の政策に対する市民連合の要望書」のちこ人間の尊厳を守る『選択肢』の提示を」の普及、学習が呼びかけられました。

学習権を守る学校の取組

中学校分会交流会

中学校分会交流会を5月15日に行いました。緊急事態宣言発出の中、市長の違法な「オンライン授業」強制による学校現場の実態を交流しました。

双方方向通信は各区に割り当てられた週

40分のみと回線が十分整備されておらず、不具合が続発する中で、午前中はプリント等の家庭学習、感染が心配される給食のための登校。対面授業は1日たったの2時間のみ。

府内他市は通常授業で、維新市政による生徒の学習権の剥奪がされる中、ある中学校では、午前中に不登校生を登校させて学習保障。また、別の学校では、「教育課程の編成は学校にある」を根拠に、授業時間数のカウントの有無に関係なく、生徒達が犠牲にならないように、生徒の学習権を守る立場で、4時間の対面授業を行って

たんぽぽ だより 6月

5月はオンライン学習と2時間授業・給食であわただしい1か月でした。ローマ字をまだ学習していない低学年の子にローマ字入力のログインや、QRコードを読み取ったり、アンケートフォー

ムに選択式で答えたりすることを教えるなど今ままでやっていたことのない学習をすることになりました。

子どもたちの時間の大切さを考えさせられる1か月でもあったと思えます。

組合のLINEなどでそれぞれの学校の取り組みも交流でき、この状況がしんどいだけではなく、直接会っていても一緒に支えあう仲間がいることにもまた気づくことができました。

6月からは新体力テストに水泳学習、また林間学習など、まだまだ課題はありますが、一つずつ何のために、誰のためにやるのかを考えてコロナ禍を乗り切りたいと思います。



夏季手当6月30日 2:225月

ワクチン接種、副反応特休を

市労組連は5月26日夏季要求の団体交渉を行い市側回答を得ました。

夏季手当2・225月を6月30日に支給。期末手当1・275月。勤勉手当は原資を0・95月とし、昨年度の人事考課における相対評価

区分に応じ、第1から第3区分の職員には0・95月プラス割増支給。第4区分は0・938月。第5区分は0・925月。

0・85月。再任用職員は1・175月。期末手当0・725月。勤勉手当は原資を0・45月とし、第

1から第3区分は0・45月。第4区分は0・437月。第5区分は0・431月。

新型コロナウイルス感染症の対応に奮闘する職員・教職員に要求にこたえないものです。夏季休暇増日数、半日取得の要

求にも応えませんでした。

市労組連は「新型コロナウイルス感染症拡大の下での勤務労働条件に関する緊急要求書」を提出し、医療従事者等のワクチン接種、接種に伴う副反応が生じた場合、特別休暇等を付与することを求めました。

「大阪市保健所コロナ対応職員の3分の1が残業」過労

保健所等の体制拡充に必要な予算を確保し、年度途中にも職員や医師、看護師、保健師等の専門職の採用をすすめることを求めました。

「教育課程の編成は学校にある」を根拠に、授業時間数のカウントの有無に関係なく、生徒達が犠牲にならないように、生徒の学習権を守る立場で、4時間の対面授業を行って

エントリーシートで 質問を引き出せ

大阪市教・教採突破講座

- 6月19日(土) 13:30 1次試験面接直前対策
 - 7月31日(土) 13:30 2次試験面接・場面指導対策
- 〈申し込みは、HPで確認を〉

第29回大阪市教教研集会

- 10月16日(土) 午後 記念講演、分科会、「学び屋台」など
- 第1回 実行委員会 6月25日
- 会場:アネックスパル法円坂

教採突破講座(5月29日予定)の1・5回は、緊急事態宣言のもと、会場が使用不可となり、エントリーシート対策の講座が中止となりました。

相談が相次いだため、個別に相談を行いました。資料は合格者の体験談、「エントリーシートで質問を引き出せ」。

「他の人のエントリーシートも参考にしました」などの感想が寄せられました。

試験に臨む心構えとして、読みやすいエントリーシートの書き方だけでなく、服装、貼付する写真などについても考えることが必要です。

緊急事態宣言が延長されましたが、会場使用については制限が一部緩和されました。講座開催、申し込みについてはホームページで確認をお願いします。